

特別寄稿 カーク・パタソン
Kirk Patterson

素晴らしい日本の海



あこがれのハワイ経由日本へ

2012年4月、シングルハンドセーリングで日本一周をする最初の外国人を目指して、カナダ・ビクトリア州から40フィートのスチール製セーリングクルーザー「Silk Purse（シルクパース）」で出航、まずハワイを目指しました。

ハワイまでは約3,000海里、27日間のセーリングでした。ハワイには11ヶ月滞在、ほぼ、1年後、4,000マイル先の函館を目指してハワイを出航しました。

しかし、日本に近づくと無風となり、ウィンドベーンを使用することができなくなっていました。また、天気予報では嵐が近づいて来る予報のため、機

走で嵐を回避する決断をしましたが、オートパイロットが壊れてしまい、不眠不休でなんと4日間も舵を持ち続けなければなりません。

そして4日目、濃霧の中、本船航路を横切り青森に近づきましたが、もう既に私の意識は限界となり、5分から15分間気を失ってしまいました。

目覚めた時、Silk Purseはぐるぐる回っている状態でした。

私は方向感覚を失い、正常な判断ができなくなってしまう、真っすぐにヨットを走らせることもできなくなっていました。

函館までの距離は残り12時間位まで近づいていましたが私は疲れ果てて、も

うこれ以上セーリングを続けることが困難と判断したため、海上保安庁にVHFで連絡をとり、休息のため、近くの港への緊急避難の許可を求めましたがまだ入国していない為、認められず、救助して港に誘導するという判断が下されました。数時間後、海上保安庁の船に発見され、セメント工場がある尻屋港（青森県下北半島の北東に位置する港）に誘導され、そこで救急車で病院に向かい、健康チェックを受け、そして休憩の後、Silk Purseに戻ることができました。

そして、ついに2日後、2013年6月ハワイ出航後37日目に函館港に入港することができました。



カーク・パタソン (Dr. Kirk Patterson, PhD)

米国生まれのカナダ人。マサチューセッツ州のタフツ大学 (Tufts University) フレッチャー法律外交大学院で博士号取得 (国際関係学)。76年から2年間、埼玉県で英語教師。文部省 (当時) から奨学金を得て筑波大学へ留学。保険会社『アメリカン・インターナショナル・グループ』法人コミュニケーション部日本・韓国担当副社長を経て2002年テンプル大学ジャパンキャンパスの学長及び学部長に就任。2007年早期退職。日本での25年の生活を終え2008年にカナダに帰国。2012年ヨットでビクトリアを出航しハワイに1年滞在后、函館に到着。以後3年かけてヨットで単独日本一周を達成し、現在瀬戸内海に浮かぶ山口県周防大島在住。

素晴らしい日本の海



北海道・函館から反時計回りで

函館港での入国手続きと休養後、7月1日、日本一周のシングルハンドセーリングを開始しました。

函館から太平洋側に出て北上し、北海道の最北端から最東端を回り、日本海を経由して福岡を目指しました。2014年春、九州西側から南下、五島列島から日本最西端の与那国島まで無寄港でセーリング、その後、最南端の波照間島、そして琉球諸島をめぐり九州に戻り、四国、瀬戸内海を経由して2014年冬、広島に到着しました。いよいよ2015年春、私とSilk Purseは太平洋を北上して函館港を目指しました。

最初は2年間で日本を一周する計画をたてましたが、最終的には2015年7月27日迄の3年間かかってしまいまし

た。総航海距離 6,400 海里、149 日間のクルージングでした。

日本一周後、私は周防大島（瀬戸内海の小さな島）に住みながらクルージングガイドを著し、そしてその後、南太平洋にクルージングをしようと計画していました。

しかし、私は福岡に住む素晴らしい女性とあるマリナーで出会い、結婚！

日本に永住する決断をしました。

今回、当初の目標であった日本一周後、更に3年、日本国内を合計6年間クルージングしましたが、日本は素晴らしいクルージングエリアだという結論に達しました。

特に、日本は次頁のような素晴らしい要素を備えています。



私が日本でのクルージングを一押しするあれこれ

『フレンドリーで親切な人たち』

クルーザーを地域の人々はいつでも、どこでも、おもてなしの心で迎えてくれる。

『美しい景色』

海道の自然からトロピカルな沖縄諸島の島々、文化豊かな瀬戸内海の島々、風光明媚な入り江がある西九州等、日本の海は誰にとっても魅力的です。

『歴史と文化年』

長い歴史と豊かな文化、お寺、神社、武家屋敷、地域の祭り、博物館等が各地に点在しています。

『豊富な係留地』

他の国ではボートの多くはアンカリング係留ですが、日本では、漁港、マリナー、海の駅、フィッシャリーナや沢山の入り江でのアンカリング等、沢山の選択肢があります。

『修理施設』

日本のほとんどの場所ですぐな価格で修理が依頼でき、信頼できるメカニックを探すことができます。

『日本料理』

日本料理は世界の中でも最高の料理の一つと考えられています。特に、新鮮な食材、こまやかな調理、目を楽しませてくれる盛り付け、器。日本で期待が裏切られる食事をとることはほとんどありません。

『温泉』

温泉や銭湯がほとんどの係留地から歩いていけるような場所に数多く存在します。

日本マリンツーリズムをもっと楽しもう

残念ですが、2019年、私はクルージングを中断する決断をしました。また、Silk Purseを売却、同時にKonpira Consultingを設立しました。

諸外国からの自分のヨットで日本を訪れる人向けのサポートや外国人向けのマリナー利用サポート、チャータークルージングの仲介、カヤックツアー企画等を通じてマリンツーリズム発展に貢献したいと考えています。

私はとても幸運に恵まれた6年間のクルーズを楽しむことができました。日本の素晴らしい自然環境や体験の機会をより多くの人たちに少しでも多く経験して欲しいと考えています。また、私の活動を通じてその機会を提供できれば願っています。

もう少し詳しく知りたい方は <https://www.konpira-consulting.com/jp> をご覧ください。日本の海や島、港でお会いする日を楽しみにしています。

